

① 次の各文の―線部の助動詞の意味が同じものには○、そうでないものには×を書きなさい。

① 君が親切にしてくれたことを、僕は絶対に忘れまい。

この情報化社会の行く末はきつと誰にも予想できまい。

② 故郷で一人暮らしをしている、老母の身が案じられる。

リンゴの香りに包まれると、君のことが思い出されるよ。

③ はがれた壁紙をすべて取り替えて、リフォームしたい。

中学校の運動会はちょうどいま始まった頃だろう。

④ 先輩は明日から大阪代表の練習に参加するそうです。

かなり疲れてはいますが、まだすこし頑張れそうです。

⑤ もう卒業までみんなで一緒に遊べる機会はないようだ。

息子はなんとか東京で一人暮らしができていますようだ。

② 次の各文のまちがいがあある文節を―線を書き、その文節を□に正しく書き直しなさい。

① 飼い犬のポチが水を飲みたいので、ぼくは皿にたっぷり水を入れてやった。

□

② このぶどうは少し腐っていて、食べれない。

□

③ 次の文章の【 Ⅰ 】にあてはまる助詞を後のⅠから選び、またその助詞の意味をⅡから選んで記号で書きなさい。

父は食べ【①】話をすると怒ります。それ【②】行儀が悪いからだそうです。しかし、僕は楽しくご飯を食【③】、いろいろな話をしたいです。静かな食卓【④】、少しぐらいにぎやかな食卓がいいです。母は、どちら【⑤】意見もわかるそうです。

Ⅰ A の B でも C より D が E ので F ながら G は

Ⅱ ア 原因・理由 イ 連体修飾語 ウ 動作の並行 エ 主語  
オ 区別 カ 比較 キ 体言の代用 ク 対象

①  
Ⅱ □ I □

②  
Ⅱ □ I □

③  
Ⅱ □ I □

④  
Ⅱ □ I □

⑤  
Ⅱ □ I □

